

2021日本学生陸上競技個人選手権大会

開催日:2021年6月4日(金)~6日(日)

場所:レモンガススタジアム平塚

種目	名前	学年	記録	着順	備考
1500m	西出 優月	4年	4分29秒75	3	予選3組2着 4分37秒27(4組 3着+3)
	山岸 みなみ	2年	予選落ち		予選2組10着 4分44秒94(4組 3着+3)
	増原 なつみ	1年	予選落ち		予選3組8着 4分48秒15(4組 3着+3)
3000mSC	西出 優月	4年	10分08秒30	1 (22名中)	全国大会初優勝
	小椋 美海	4年	10分37秒97	8 (22名中)	自己記録 10分51秒87 を更新
	森崎 綾乃	3年	10分58秒71	15 (22名中)	

【山本コメント】

年2回行われる学生陸上競技の全国大会のひとつである上記大会に、本学女子駅伝部の5名が6競技に出場した。本大会には、種目毎に定められている標準記録を設定期間内に突破した者のみが出場できる。大会1日目の1500mは、予選、決勝とも強風と強雨の中、3日目の3000mSC決勝は小雨の中、暑くはないもののやや難しいコンディションの中でレースは行われた。

1500mには3名が出場し、西出のみ決勝に進出した。決勝レースは、強風と強雨のためにスローペースでスタートしたが、2周目から西出が積極的に先頭を引っ張り、ラストのスパート争いで2名から少し後れを取ったものの最後までよく粘りきり、この種目では自身、全国大会での初入賞、初の3位以内を達成した。

3000mSCは22名での決勝レースとなった。西出は序盤から先頭グループ3名の中でレースを進め、ラスト700m付近から先頭に立ち、そのままトップを譲らず先頭でフィニッシュした。これまでこの種目では、全国大会での3位を2度達成していたが、今回、初めての全国大会での優勝を果たした。これまでの様々な経験を学びにして、真摯に競技に取り組んできたその成果が、最終学年の年に表れて本当によかった。

また同じ3000mSCでは、小椋が個人種目として初の全国大会出場を果たし、自己記録を大きく更新して、8位入賞を果たした。初めての大会で、大人数の中で落ち着いてレースを進め、集会を重ねる毎に順位を上げ、フィニッシュラインまで集中を切らさずに走りきったのは見事だった。

4年生2名が成果を出した一方、他3名の出場学生はやや不本意な結果となった。しかし幸いにも、3名は来年度以降にチャンスが残る学年でもある。またチーム全体としても、5名の部員が一度に全国大会に出場したのは、かつてない多い人数であり、他の部員にとっても大きな刺激となった。来年度は本大会にさらに多い人数で出場できることを目指し、大会本番でも多くの部員が良い成果をあげられることを目指していきたい。

学生たちにとってかけがえのない機会のために、コロナの感染状況の中で本大会の開催にご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。